



# 検証、成果及び今後に向けて

## 道徳科の授業に係る児童生徒の意識調査及び児童生徒の振り返り

【道徳教育推進拠点地域事業に係る児童生徒等の意識調査】

質問項目	小学生 (%)		中学生 (%)	
	R5 5月	R6 5月	R5 5月	R6 5月
自分にはよいところがあると思う。	75.3	82.6	83.3	89.5
将来の夢や目標をもっている。	93.5	94.2	81.5	93.0
今住んでいる地域が好きだ。	97.4	96.2	92.6	93.0
道徳科の授業では、友達と話し合うなどして自分の考えを深めたり、広げたりしている。	84.4	95.7	98.1	100
道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている。	87.0	98.6	88.9	98.2
道徳科の授業で勉強したことを、自分の生活にいかしている。	81.8	89.9	81.5	93.0

【児童生徒の振り返り】

私は、リーダーを務めるには、周りの人の気持ちを知っておくことや知ろうとすることが大切だと思っていたけど、友達の「周りの人の支えも大切だと思う」という意見を聞いて、周りの人の存在も大切だと思いました。【小6「だれがリーダーに」】

友達と意見が食い違ったときは、自分の意見が正しいと思うのではなく、相手の気持ちも考え、話し合ったり、認め合ったりするべきだということに気付きました。私は、今までは、じゃんけんや話し合いをして決めていたけど、まだ心の中に不平が残っていたので、それは良くないと思いました。これからは、お互いを認め合い、ゆずり合うことを大切にしながら過ごしていきたいです。【小5「プランコ乗りとピエロ」】

目標をもつことには、「自分を強くする」という意味があると思う。自分は、特に目標をもたず、試合に負けても「しょうがない」とさじを投げるがあったが、今日の学習を通して、小さくてもいいから目標をもって、あきらめずに挑戦し続けることができる「強い人」になりたいと思った。【中3「銀メダルから得たもの」】

友達の意見に「なるほどな」と思いました。たしかに「生きている」「心がある」というのは私たち人間だけではないので、自然は大切だなと思いました。【中1「木の声を聞く」】

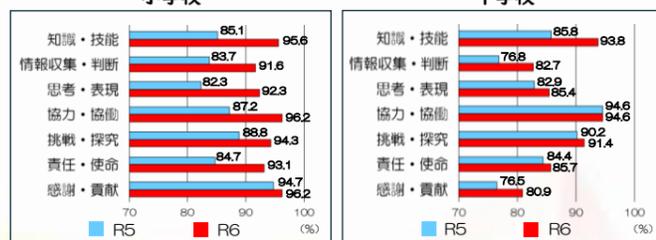
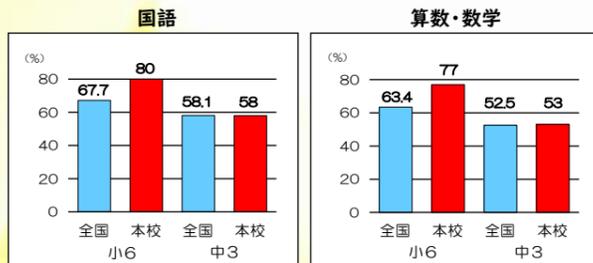
## 未来を創る力

### 広南中学校区で育成をめざす7つの資質・能力

(知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 協力・協働 挑戦・探究 責任・使命 感謝・貢献)

【令和6年度全国学力・学習状況調査(平均正答率)】

【学校評価 生活と学習アンケート(肯定的評価の割合)】



【本校で設定した資質・能力の高まりを意識した児童生徒の振り返り】

私は、運動会を終えて、「やりきった」という気持ちがあります。理由は、初めての係活動もあって不安だったけど、自分の競技をしながらも責任を持って、失敗せずやりきることができたからです。来年は6年生になるので、低学年のお手本になるようがんばっていきたいです。【小5 責任・使命】

私は、練習では「負けるから」という思いがあって、なかなか本気で走ることができなかったけど、周りの人は本気で練習していました。その結果、運動会当日では、1位になれたので、あきらめないことが大切だとわかりました。【小6 挑戦・探究】

私は、みんなと協力して教え合ったり、バトンパスやソーランが完璧になるように調整を行ったりすることができたので、「協力・協働」の力が成長したと実感しました。みんなと協力したおかげで、最高の運動会にすることができたと思います。【中3 協力・協働】

### 【成果】

- 意識調査において、自分自身に関する質問項目について、肯定的評価の割合が増加している。また、道徳科の授業における振り返りについては、友達の意見を聞いて、自分はどうか振り返ったり、これまでの自分がどうだったのかを振り返りながら、自分の生き方を考えたりすることができる児童生徒が増えた。資質・能力を見取る振り返りにおいても、児童生徒は自己を見つめながら考えをまとめるようになってきた。
- 道徳学習プログラムの取組を通して、道徳科の授業で学習したことと、他の教科等や日常生活を結び付けて考えさせることを、教師が意識するようになり、児童生徒の道徳的心情や道徳的実践意欲を高めることにつながった。

### 【今後に向けて】

- 生徒の道徳性を高めるために、道徳科を要とした他教科等との関連によるカリキュラム・マネジメントを工夫することは効果的である。引き続き、道徳学習プログラムの充実を図っていく。
- 地域を活かした教材をさらに開発し、地域に生きた先人から自己の生き方を考えさせたり、地域の文化や伝統に対する関心をより高めさせたりしていきたい。

令和5年度・令和6年度呉市小中で創る「未来の学び」実践事業指定校  
令和5年度・令和6年度広島県「道徳教育推進拠点地域事業」指定校

呉市立広南中学校区教育研究会

# Society5.0 を生きる資質・能力の育成

～主体的に考え、議論し、  
自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して～

主体的に考えるための工夫

考え、議論するための工夫



心

## 考え、議論する「シン・ドウトク」

深



自己を振り返るための工夫



学びを活かすための工夫

進



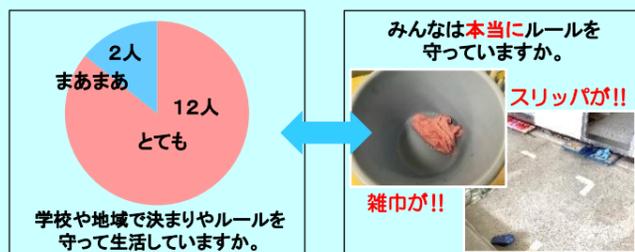
施設一体型小中一貫教育校 広南学園

呉市立広南小学校 呉市立広南中学校

# 主体的に考え、議論する道徳科の授業づくり

## 『主体的に考えるための工夫』 ☆導入等で児童生徒の意欲を引き出そう！

### 課題提示（導入）の工夫



アンケートと児童生徒の実態の比較  
【小3「黄色いかさ」】



この他にも、実際に起こりそうな葛藤場面の提示や児童生徒の感想を活用した話し合いなどの工夫もしているよ。

クラスの事前アンケートとルールを守れていない児童の実態を比較して、課題意識をもたせました。

### 教材提示の工夫



具体物の活用

【小5「くずれ落ちたダンボール箱」】



TTによる役割読み

【小6「手品師」】



板書の工夫（黒板シアター）【小1「二わのことり」】

自分との関わりで考えやすくする工夫を行っています。

## 『自己を振り返るための工夫』 ☆これまでの自分の考えを整理し、自分の生き方を考えさせよう！

### 振り返る視点の焦点化

#### ふりかえりの視点

- 今日の学習でどんなことが分かったか。これまでの自分はどうだったか。これからの生活にどう活かしていくか。
- 今日の学習でどんなことが分かったか。友達の考えを聞いてどんなことを考えたか。
- 今日の学習で一番心に（印象に）残ったことはどんなことか。
- 今日の学習でさらに疑問に思ったことはどんなことか。

「ふりかえりの視点」の活用、時間の確保

振り返る視点を焦点化し、児童生徒が学習を通して、思ったことや感じたことをまとめることができるよう、時間を確保しています。

振り返りでは、考えがどのように深まったかを自覚させ、実際の生活に結び付けることにより、実践意欲を高めることにつなげています。

### 道徳科の学びと生活（道徳的実践）との結び付け



先生もこんなうれしいことがあって「ありがとう」を伝えたよ。

教師の説話【小1「みんなだれかに」】

児童生徒が気付いていない自分たちの行動や姿について、価値付けを行う工夫をしています。

私も「ありがとう」をもっと言いたいなあ



スライドショー



みんなで協力したなあ

【小2「森のともだち」】

## 『考え、議論するための工夫』 ☆自分の考えをもたせよう！

### 議論する場の設定の工夫



コの字型の机配置 ペアやグループを活用した対話



ペアやグループトークで友達の意見を聞き、全体交流で自分の考えを深めさせます。

### 自分の考えをもたせる工夫



ICTの活用

考えを可視化させることによって、議論も促進されます。



ネームプレートの活用

「はなしたいわ」シートの設定と活用

小1から中3まで、発達段階ごとに、具体的な「発言」「反応」「議論させるための発問」をまとめた「広南中学校区『考え、議論する姿』」です。児童生徒と共有し、意識させています。

この他にも、中心発問として、考えたい問いや新しい学びは何か等、発問の精選をし、道徳的価値の理解を深めるようにしています。

## 『学びを活かすための工夫』 ☆自己の気づきや成長、道徳科の授業と生活とのつながりを感じさせよう！

### 道徳学習プログラム



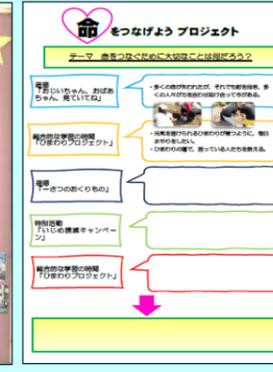
広南学園運動会



小中合同あいさつ運動



道徳科を要とした他教科等との関連によるカリキュラム・マネジメント



7. 9広南防災の日



せとうち海援隊



学習の足あと

事前や事後の活動と道徳科で学んだことを結び付け、自分の生活とのつながりを感じることができるようになっています。

様々な教科や取組が道徳科の授業と結び付いて、広南中学校区の道徳教育を推進しています。